

平成18年度 横浜国立大学大学院国際社会科学研究所
法曹実務専攻(法科大学院)

法学既修者認定試験問題
入学試験 (B日程) 第2次選抜 (論述試験) 問題
(問題は共通です)

憲 法

配点 100点
時間 90分

※ 試験開始の合図があるまで、
この問題冊子の中を見ないこと。

2006年春 法科大学院B日程／既修者認定試験「憲法」試験問題

以下の2問とも解答せよ。

(配点：両問とも「憲法」の50%)

第1問

Y市は、隠れキリシタンの史跡を守るため、年額100万円の予算を計上していた。年に一度、市長以下幹部職員列席の下、壮絶な最期を遂げた隠れキリシタンたちを慰霊する祭を挙行し、その際にカトリックの司祭に予算の中から10万円を支払った。またY市は、この祭に参加する児童・生徒を欠席扱いしないよう、市内の各小中学校に命じた。Y市の以上の行為の合憲性について論ぜよ。その際には、誰が、どのような場合に、どのような訴訟で争えるか、についても指摘せよ。